



毎週金曜日発行

東大阪市議 中西のぶひろの

# 週刊なのタイムス

～東大阪の市政や地域情報をお伝えする～

第47号 令和4年12月2日発行

発行：東大阪市議会議員 中西のぶひろ  
住所：東大阪市瓢箪山町2-14  
連絡先：(TEL)072-982-5127 (FAX)072-985-6972  
携帯：090-8164-5857  
メール：nakanishi.jimusho@gmail.com  
ホームページ：https://www.nanotimes.net/

## ■シェアサイクル体験記

### ～会員になって、シェアサイクルを利用してみました

44号（11月11日発行）でお知らせしたシェアサイクルですが、とても気になって自分で会員になり、使ってみました。

#### ★シェアサイクルって、どんな事業？

自分では自転車を持たずにほかの人とシェア（共有）して自転車を利用するサービスで、必要なタイミングで借りたり返したりできて、使う分だけ料金を支払えば使えてとても便利です。東大阪市では、事業者を公募してソフトバンク系のオープンストリート社が決定し、10月から「ハローサイクリング」という名前で事業がスタートしました。令和8年3月31日までの4年半の期間で、事業として採算が取れるのか、継続性があるのかなど実証実験をします。市は、電車・バスの既存の公共交通を補充するものとして、予算を使わずに民間の事業者の手を借りて仕組みを作り、事業者としては採算が取れると可能性が広がり、いわば行政と事業者はWinWinの関係をつくれる事業です。堺市や豊中市でも、実証実験を経て、本格的に事業をスタートさせるなど、全国の自治体でも実証実験を経て事業化するところが増えてきました。

#### ★会員になって、使ってみました

スマートフォンで「ハローサイクリング」で検索し、アプリをダウンロードして会員登録したらすぐに使えます。右のQRコードを読み取っていただくと、ハローサイクリングのサイトに入っていただけます。カードを発行してもらうことは必要なく、利用したいときにすぐにスマホで予約ができ、予約をしたその後30分は予約が有効です。予約後キャンセルするときもスマホでキャンセルできますが、30分経過すると自動的にキャンセルになり、キャンセル料も利用料金もかかりません。

利用は、自転車についている操作パネル（写真1）に、自転車ごとに与えられる4桁の暗証番号を入力するだけでできます。操作パネルは液晶画面なので、夜は見やすいのですが、昼間は字が見えにくく、ひと工夫がほしいところです。

返却はステーションの有るところならどこでもいいので、これがシェアサイクルのいいところで、便利ですね。全国にステーションが5000カ所以上あるということですが、旅行にいて利用するときは別として、日常的に利用するのは近所にどれくらいステーションがあるかが肝心で、東大阪市内には現在44カ所（12月1日現在）にあるということで、まだまだ日常的に便利だと思えるステーションの数には至っていないのが現状です。実証実験が終わる4年半の間に、どれくらい増やせるのかが、事業化できるかどうかの大事なポイントになりますね。

料金は地域によって若干異なりますが、大阪府では最初の30分は130円でその後は15分ごとに加算され12時間までなら1,800円が上限になります。



写真1

## ★シェアサイクルの今後

これは、ほんとにいい事業だと思います。利用者にとっても、自転車に乗るということは健康にもプラスになるし、環境にもやさしい！ 自転車をシェアするということで、自分の自転車に乗らなくても短距離の移動が簡単にでき、駅前に放置することも減るでしょう。これまでの行政の駅前の放置自転車対策は、自転車の撤去と啓蒙活動だけの感がありましたが、シェアサイクルは放置自転車対策としても大きな切り札になるかもしれません。また東大阪市のような東西には鉄道網が完備していても、南北の移動には不便なまちにも、シェアサイクルは鉄道やバスの従来の交通手段に補完的な意味を持つでしょう。これで事業として成り立つならば、利用者・事業者・行政の三方良しの事業になるでしょう。そのためにも、この実証実験事業を成功させ、事業化させなければなりません。私は、シェアサイクルに大きな可能性を感じています。

ちょっと  
いいお話し！



【山田さん(右)と清掃員の温もりが伝わる画像  
＝山田千紘(Chihiro Yamada)さん  
(@chi\_kun\_cq22)より】

(YAHOOニュース11月23日「まいどなニュース」より)

山田千紘(Chihiro Yamada) (@chi\_kun\_cq22) さんはある日の早朝、“当たり前”に遭遇、感謝の気持ちをSNSに投稿して、翌朝に13万ツイートがあり、話題になりました。きっかけは、山田さんの方からトイレを掃除していた女性清掃員に声をかけたことでした。

「俺よりも遥かに早い時間に会社に来て一生懸命トイレを綺麗にしてくれてるおばちゃん。『朝何時に来てるの～？』って聞いたら『始発で来てるの』って。こういう人達のおかげでみんなが朝から気持ち良く使えるんだよな。朝から幸せな気分。みんなもトイレは綺麗にしよう」

これもいいお話しなんですが、私がさらに感動したのはこの山田千紘さんという男性はまだ30歳を超えただばかりのサラリーマンなんですが、なんと10年前にJRの駅から転落して両足と右手を切断され(左の写真の右手は義手なんですね！) 生きる望みのなくした絶望のうちから、周りの人の支えのおかげで見事に復活

され、明るくポジティブな思考で日々過ごされているということがわかったからです。こういう壮絶な過去の経験をお持ちだからこそ、日常の小さな出来事にも感謝の気持ちを持つことができるのだなあと感じました。私も山田さんのファンになって、彼のYouTubeにチャンネル登録しました。

